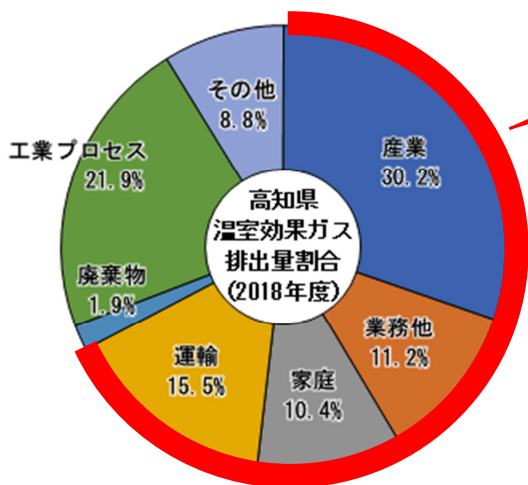


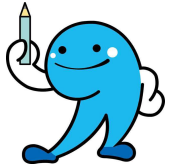
高知県の温室効果ガス排出量の状況



エネルギー起源の
CO₂ 排出量は全体の67%

- 温室効果ガス排出量の67%がエネルギー起源CO₂
- 産業分野が全体の30.2%（第1位）

「脱炭素化」を目指した取組を
産業振興につなげていく必要があります。



2030年度までの温室効果ガス排出量削減目標

高知県地球温暖化対策実行計画

計画期間

2017年度～2030年度

基準年

2013年度

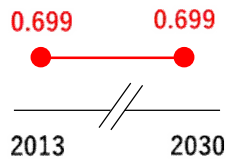
2030年度温室効果ガスの削減目標

目標①

2013年度比
28%以上削減

計算条件

2030年度の電気のCO₂排出係数を
2013年度と同じとした場合
(単位: kg-CO₂/kWh)

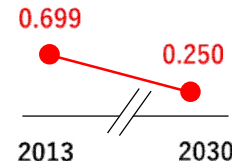


目標②

2013年度比
47%以上削減

計算条件

2030年度の電気のCO₂排出係数を
国の2030年度目標値とした場合
(単位: kg-CO₂/kWh)



2つの温室効果ガス削減目標を設定しています。

目標①

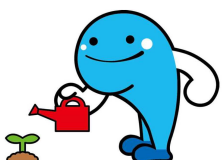
CO₂排出係数の影響を除いた削減努力を見るための目標

目標②

実際の温室効果ガス排出量を見るための目標

なお、目標の温室効果ガス削減量には、森林による温室効果ガスの吸収効果も含んでいます。

※電気のCO₂排出係数は、電気1kwhを作る時に発生するCO₂排出量で、電力会社ごとに公表されます。



管理されている森林のみが二酸化炭素を吸収していると認められるので、
二酸化炭素の削減には適切な森林管理が重要となります。